

八月号と九月号の大部分を、米国の幼児教育誌 CHILDHOOD EDUCATION の特別号の翻訳にあてた。これは、一九六〇年から一九六五年の間に、同誌に掲載された論文の中から抜粋して編集されたものである。原文は八九頁の小冊子で、平常の号よりもやや厚くなっている。題名は、「幼児期——学習のためにつなげたい時期」と訳したが、原題は、Early Childhood Crucial Years for Learning である。

この号を計画するに当たって、国際幼年教育協会から、次のような厚意ある手紙を受けとっている。

「長い歴史を持つ貴誌が、幼稚園、ナースリースクールの実践および心理学、教育学の理論の向上に貢献しておられますことに敬意を表します。私どもの協会も、七十五年史の編集を終わり、出版を待つばかりになっています。私どもは、貴誌がこの特集号に興味をもたれましたことを嬉しく思います。そして喜んで日本語の翻訳を承諾いたします。私どもは、翻訳が正確であり、頁数の制限のために縮小されないように望みます。もしもやむを得ない場合には、いくつかの論文を割愛する方がよいと思います。また、販価が高価でないことを望みます。私どもの協会は、利益を求めない団体であり、著者は厚意的に執筆しているのです。したがって私どもは、

この翻訳版による報酬は、協会の建物の拡張のための寄付として受けとることになっております。三月二十六日—三十一日には、全国大会に、数千人の幼児教育者が集まることになっていますが、その掲示板に、『幼児期——学習のためにつなげたい時期』、日本語翻訳進行中と大きな見出しで掲示しました。私どもは、この小冊子が日本の幼児教育者の方のためのお役に立つことを心から願っています。出版されましたら、三部お送りください。敬具  
マーガレット・トラスマムセン、編集者」

私どもは、日本の幼児教育界が国際的な視野をもちながら歩んでいくことを望んでいる。しかし、それは、日本の幼児教育の実践の着実な積み重ねがあつてはじめて意味をもつものである。幼児教育の原理は、実際の幼児との間の、愛情の通った交流の中に生まれるものであつて、それと無関係に、どこから持ってくるのではない。

私どもは、広く世界のことを学びながら、幼児の発達を守るための幼稚園教育が発展することを願うものである。また、世界中、いたるところに、志を同じくする同業者を見出すならば、世界の一角の、幼稚園の一つのクラスの中にだけ住んでいる一保育者も、その志は世界につながることを発見して、新たな勇気を得るであらう。本誌の今日の計画が、このような役に立つならば幸いである。(T)

## 幼児の教育 第六十六巻 第九号

九月号 © 定価八〇円

昭和四十二年八月二十五日 印刷  
昭和四十二年九月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社  
東京都千代田区神田小川町三ノ一  
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願いたします